

# まちがど ホットライン

## 1人だけの新入児童

### 美祢市立綾木小学校



あり、とても和やかな入学式となりました。

4月8日に市内ほとんどの小学校で入学式が行われました。教職員や在校生、保護者が温かく見守るなか、207人が小学校生活をスタートさせました。

綾木小学校（藤本昭子校長・全校児童18人）では、岩間千里さん1人だけの入学式となりました。上級生がつくる花のアーチを、担任の先生と手をつなぎ元気に入場し、校長先生や来賓の方のお話を緊張した表情で聞いていましたが、その後、2年生による絵を交えた歓迎の言葉が

## お福ふるさと祭り開催



々が参加され盛況の内に終了しました。

4月12日、於福公民館で「お福ふるさと祭り」が行われました。

館内では、ステージで地域のようなサークルの発表があり、各部屋では、生け花、書道、手芸など様々な展示があり、日頃の練習の成果を披露し、訪れた方々は思わず立ち止まって見ていました。また、屋外では、うどんや焼き鳥など様々なバザーが出店されました。

祭りの最後にビンゴゲーム大会があり、数字が出るたびに会場全体が一喜一憂していました。最後は公民館の外でもちまきがあり、多くの方

## 桜まつり in 大正洞&秋吉台エコ・ミュージアム



た、桜もライトアップされ、家族連れが夜桜を楽しみました。

4月11日、美東町赤郷にある秋吉台エコ・ミュージアムで開催されました。天候にも恵まれ、多くの観光客が訪れました。地元の方々によるバザーなどが出店され祭りを盛り上げました。なかでも地元特産の美東ゴボウを使ったゴボウ寿司は好評で、多くの観光客が美東ゴボウの味を堪能されていました。

辺りが暗くなり始めた午後7時頃から竹筒の中のロウソクに火が灯され、エコ・ミュージアムに続く道は幻想的な雰囲気になりました。また

## 津森節一さん旭日單光章授与



平成21年春の叙勲受章者で、永年の功績を認められ、津森節一さん（秋芳町秋吉）が旭日單光章を受章されました。

津森節一さんは、昭和54年10月に旧秋芳町議会に当選され以来3期12年の永きにわたり町の発展に貢献されました。

時代とともに変化する観光ニーズをとらえ観光客受入施設整備事業など観光基盤の整備、商工業の発展や住民福祉の向上に尽力されました。

# 3月議会 一般質問

## Q 質問要旨 & A 答弁要旨

市議会定例会での、一般質問の質問要旨と答弁要旨を紹介いたします。

また、本会議や各委員会の様子は、市有線テレビ（MYT）で放映しており、各総合支所では録画を見ることが出来ます。議事録も市議会事務局、美祢図書館、各総合支所、市ホームページでご覧になれます。  
問合せ先 市議会事務局（☎0837-1117）

大中 宏議員



### 1 環境美化作業について

Q 過疎・高齢化は、歯止めがかからず進行するばかりであり、河川の上流域になるほど高齢化はひどくなります。特に足場の悪い河川や道路の法面の草刈りは高齢者にとって大変危険な作業です。高齢化に伴う河川や道路の法面の草刈り作業

対策並びに実施している地区数についてお伺いします。

### A 市長答弁

現在、市が管理をする河川は71河川、市道は、1,084路線ございます。これらを市がすべて管理をするということは、財政的な面だけからも非常に難しいと考えております。  
作業地区の内訳であります。平成20年度において、河川については実施しておらず、地元の方々にお任せをしている状態でございます。市道につきましては、交通安全上特に必要と思われる61路線

延長99キロメートルの草刈りを実施しております。

危険対応を含む対策の一つといたしまして、市では、市民の社会奉仕活動において、市民が万一事故に遭われた場合に、見舞金が支払われる保険を掛けておりますが、これには、市から依頼を受けた活動であること等の一定の条件がございます。

市民による環境美化作業に對します支援策は、今後、全市一元的に整備をしていく必要があると考えており、限界集落等、過疎化等のため地域の集落機能が低下をしている場合は、特別な支援も考慮するなど、めり張りの効いた支援策を今後、検討してまいりたいと考えております。

岡山 隆議員



### 1 定額給付金について

Q 美祢市の消費拡大を図るため、市内限定版のプレミ

アム商品券の発行を検討されているのか、また、消費拡大への広報活動も併せてお尋ねします。

### A 市長答弁

対策の一つといたしまして、プレミアムつき商品券の発行も有効な事業であると認識しております。前向きに取り組みたいと考えております。

現在、美祢市商工会から、プレミアム付き商品券への取り組みについての提案がなされておりました。商品券の発行額やプレミアム額等については、現在、商工会が検討中でございます。

プレミアム付き商品券への取り組みの初めといたしまして、広報誌等を使いまして定額給付金の市内活用を呼びかけさせていただき、できるだけ多くの市民の皆様、御理解を得まして、市内で定額給付金を活用していただけるように取り組んでまいりたいと考えております。

### 2 子育て支援について

Q 昨年の4月から合併後の美祢市として5回までの妊婦健診無料化が実施される

ようになりました。このたびの2008年度第2次補正予算案では、必要な回数（14回程度）の健診を受けられる道筋がつけられ、2010年度までの2年間にについては、自治体に対して財政措置をされていない9回分の健診費用が支援されるようになりました。しかしながら、2011年度からは国庫補助措置2分の1の支援策が見込まれなくなります。その際、5回分程度の財政措置の対応についてお尋ねします。

### A 市長答弁

財政的に厳しい状況下ではありますけれども、妊婦の方が健診費用をご心配されずに安心して出産をお迎えになられますように、平成21年度から妊婦健診の公費負担による回数を14回とするように、新年度予算計上をいたしましたところでございます。  
平成23年度以降につきましては、まだ、国の方針が示されておりませんが、今後、妊婦健康診査の実施状況、これから国の動向を踏まえまして、市としても対応を検討していきたいと考えております。